

復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前

【物語を読んで答える問題】

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

親子の銀ぎつねは、ほら穴あなから出ました。子どものほうは、お母さんのおなかの下へ入りこんで、そこから真ん丸な目をぱちぱちさせながら、あつちやこつちを見ながら歩いていきました。

やがて、ゆくてにぼつとり、明かりが一つ見え始めました。それを子どものきつねが見つけて、

「母ちゃん、お星様は、あんな低い所ひくにも落ちてるのねえ。」
と聞きました。

「あれはお星様じゃないのよ。」
と言って、そのとき、母さんぎつねの足はすくんでしまいました。

「あれは町の灯ひなんだよ。」
その町の灯を見たとき、母さんぎつねは、あるとき町へお友達ともだちと出かけて行って、とんだめにあったことを思い出しました。およしなさいって言うのも聞かないで、お友達のきつねが、ある家のあひるをぬすもうとしたので、お百しように見つかって、さんざ追いまくられて、命からがらにげたことでした。

「母ちゃん何してんの、早く行こうよ。」
と、子どものきつねがおなかの下から言うのでしたが、母さんぎつねはどうしても足が進まないのです。

（出典 新美南吉 「手ぶくろを買いに」）

1) 子どものきつねは、町の灯ひを見て、何と間ちがえたのでしょうか。三字で書きぬきましよう。
よう。レベル6

--	--	--

【R2】復習シート 小学校4年 国語 (読むこと)

(2) 母さんぎつねの足がすくんでしまったのはなぜですか。もっともふさわしいものを、次の1〜4の中から一つえらびましょう。

レベル7

- 1 子どものきつねが、お星様が低い所に落ちていると言ったことにおどろいたから。
- 2 あるとき、母さんぎつねが、ある家のあひるをぬすもうとしたところを見つかったし、まい、がっかりしたことを思い出したから。
- 3 あるとき、お友達のきつねが、ある家のあひるをぬすもうとしたところを見つかった。命からがらにげたことを思い出したから。
- 4 あるとき、お友達のきつねが、言うことを聞かずにあひるをぬすもうとしたことには、らが立ったことを思い出したから。

